

日刊日本金属通信

株式会社日本金属通信社

大阪本社 大阪市西区江戸堀1-19-23
☎06(6443)6891 FAX(6441)1990

東京本社 東京都中央区八丁堀3-23-3
☎03(6222)0331 FAX(6222)7226

中部通信部 愛知県豊田市東新町3-31-2
☎090(6929)8875

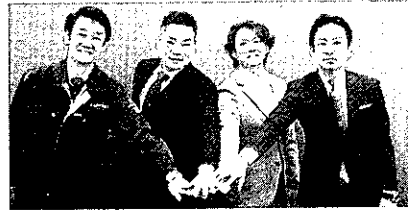
w e b <http://www.nikkintsu.co.jp/>

紙面版 6ヵ月53,784円 1年101,520円(8%税込)

電子版 6ヵ月51,480円 1年96,800円(10%税込)

禁：無断転載・コピー・FAX・メール転送・翻訳

2024年(令和6年) 3月14日(木曜日)



システムを立ち上げた4社首脳陣

「藤澤鋼板・別府スリッターなど4社」 新物流システム運用拡大へ 鋼板から形鋼まで対応強化

藤澤鋼板・別府スリッター・櫻井運輸・ネバーマイルの4社は、共同開発した新物流システム「TEPPAN」の運用拡大に取り組む。

同システムは鋼材に特化したオーダー&ロジスティクス管理システムだ。WEB上で配送依頼を行い、鋼材流通と運送業者が双方で情報をリアルタイムで共有できる画期的なもの。すでに2月から薄板の扱いを中心に運用を開始。重量計算や分割配送にも対応、物流に関するペーパーレス化を実現している。4社は今年4月からの物流業界の規制強化を背景に、流通業界における物流業務効率化に寄与すべく、システムをさらに改良。重量計算で形鋼品種への対応を強化している。今後は鋼管類まで網羅し、鋼材品種をひとおりの網羅し、扱い品種を問わず広く流通業者に活用できるようにするという。

藤澤文・藤澤鋼板社長は「鋼材流通だけでなく、運送業者にもぜひ参加して頂きたい。各社で特定の運送業者と契約しているが、当システムはデータのやり取りの場としての機能もある。基幹システムも各社各様だが、どのようなシステムを仕様しているか、TEPPANには参加できる」としている。

別府竜児・別府スリッター社長は「物流については電話やFAXなど昔ながらのツールが活用されているケースが多い。24年問題が顕在化するなか、多くの仲間を取り込み物流業務効率化を進めたい」と話す。

櫻井隆介・櫻井運輸専務は「運送業者の立場として、受注した内容が可視化できるのでありがたい。普段頂く受注は荷姿・伝票など複雑な(2面に続く)

要素が多く、こうしたものが整理された形で管理・把握できる当システムは画期的だ」とする。システム構築を行った深作康太・ネバーマイル代表は「鋼材の配送における重量計算は業界特有のもの。専門のシステムがあることで、鋼材流通業界としてもっと機能を強化できる」と話す。

藤澤社長はシステム内容を順次バージョンアップさ

せ利便性を高めたいという。「参加企業は増えるほど利点は増える。システム改善も参加企業から直接リサーチし意見を取り込む形で行う予定だ」。

4社は、今年5月に大阪で行われる展示会「メタルジャパン」(高機能金属展)に同システムを紹介する。秋に行われる幕張メッセでの展示会にも出展する意向だ。